

第73回 伊勢市都市計画審議会 議事録要旨

令和8年1月26日

第 73 回伊勢市都市計画審議会

日 時 令和8年1月26日（月）午後2時から

場 所 伊勢市役所本館 3階委員会室

委員出席者	浅野 聰	伊藤 良栄	西井 一比古
	中村 彰	河井 英利	大野 寛文
	小阪 史章	杉村 剛	宮本 晃
	宿 典泰	竹本 訓子	千島 孝弘
	中出 瞳	森井 美惠	

出席幹事等	市長 鈴木 健一
	副市長 福井 敏人
	都市整備部長 上田 淳一
	都市整備部参事兼維持課長 見並 卓也
	監理課指導官 荒木 一彦
	上下水道部長 成川 誠
	上下水道部次長 濱口 新
	上下水道総務課長 中山 誠
	下水道課長 岡井 孝浩

事務局	都市計画課副参事兼計画係長 青山 憲太郎
	下水道課副参事兼計画係長 川面 和彦
	都市計画課計画係 小長谷 容子・橋本 香織
	下水道課計画係 林 大輔

司会進行 事務局（都市計画課副参事）

傍聴人 1名

議事録署名 大野委員、千島委員（議長指名）

【内容】

事前説明案件

事前説明案件 1 伊勢都市計画下水道の変更案について

【発言内容】

事前説明案件

事前説明案件1 伊勢都市計画下水道の変更案について

説明

◆事務局

事前説明案件1 伊勢都市計画下水道の変更案について、資料に沿って説明。
詳細な内容については事前説明案件資料、事前説明案件関連資料及び当日資料を参照。

◆会長

ただいまの説明について、御質問などあればお願ひする。

質問・意見

◆委員

質問ではないが、説明を受けての認識をお話しさせていただくので、間違っていたら教えていただきたい。現在の公共下水道全体計画は、市の人口動向の特性を踏まえて適切な処理方法を選択し、効率的に実施する国の方針を受けて、平成28年度から令和7年度の計画期間で第2期伊勢市生活排水対策推進計画が策定されている。今回、令和8年度からの第3期計画を作成するにあたり検討された結果ということで、資料のとおり議会への報告や市民へのパブコメを実施した経緯があり変更するということなので、合理性、将来性、環境水準など、妥当な判断と思う。また都市計画上も、伊勢市都市マスタープラン第5章にこの関連や合併処理浄化槽の考え方方が示されており、上位計画となる都市マスタープランとも整合している。また、伊勢市立地適正化計画についても今後基準を判断していくという説明があったので、本変更については妥当だと思う。

◆会長

他に御意見・御質問はあるか。

◆委員

理由書に『地域特性を勘案し』とあるが、今回対象外となった地域に共通する地域特性があるのか、その地域特性とは何なのか、お聞かせいただきたい。

◆事務局

地域特性について、国のマニュアルの中に、地域のコミュニティの括りや地形

の特性を勘案して下水道の整備区域を区域分けするようにとあり、そのように区域分けをしている。

◆委員

何か具体的な特性があればお聞かせいただきたい。

◆事務局

除外された区域の主な特性は、大きくは家と家の間隔が広く、人口が少ない地域である。また、地形の関係で工事費等が高くなるという特性がある。

◆委員

8ページの広域清掃工場の左上や、9ページの外城田川のやや上に飛び地のような箇所がある。効率を考えると、飛び地のように下水道を設け、維持管理をしていくのは費用対効果が良くないように思うが、どのような基準でこうなっているのか。グーグルマップで周辺の航空写真を見ると、既にマンホールがあつたりして、何らかの加減で私費等で下水道に接続されたのかとも考えたが、ここに限らず飛んでいる箇所が所々あるので、その考え方の指針をお示しいただきたい。

◆事務局

8ページの飛び地については、上流から下流側へ管路を整備するにあたり、広域清掃のほうが下流になっており、安価に延長を短く敷設するため、田んぼの中に既に下水道管を引いてあったところに家が建てられ、その部分が下水道という形になったものと考えている。9ページのほうは、伊勢市の飛び地であるが、既に周辺に玉城町の管路が整備されており、そちらへ接続することで効率的な整備をしている。

◆委員

パブリックコメント実施結果の概要について、意見数0件というのはかなり少ないとと思うが、普段はどのくらい意見が来るのか。

◆事務局

今回は意見数0件だったということだが、過去に都市計画課が実施したパブリックコメントでは複数の意見を頂いた。

◆委員

私は伊勢に来てまだ半年足らずで、このような広報がされていることを一市民としては知らなかつたのだが、同じく新しく越してきた方などは、恐らくこのようなものを見る機会がない。このような広報をより多くの方に見ていただくための努力はされてるのか。

◆事務局

より多くの意見を頂くということは大事だと思っている。どのようなことができるか検討し、より良い意見をたくさん頂けるように考えていきたい。

◆委員

承知した。具体的なものはまた改めて教えていただきたい。

◆委員

パブリックコメントは意見0件ということだが、今回区域の増減があり、合計的には減ったほうが多いということだが、その地区に対しての説明等はどのような状況か。

◆事務局

除外した区域については、自治会の説明会及び回覧等で周知し、概ね御理解を頂いたところである。

◆会長

他に御質問などよろしいか。それでは先ほどの説明のとおり、本日は事前説明案件ということで、次回の都市計画審議会の場で承認していく。本日特にご指摘がなければ、次回承認していただくよう進めていきたい。

私からも一つ補足で、下水道全体計画の区域の見直しについては、伊勢市の全体人口は減少しているので、妥当な方向で計画が見直されていると思う。本日配布いただいた当日資料について、凡例のうち、一番下の黄色く塗られ赤の斜線が入っている所だが、「立地適正化計画における居住誘導区域」と書かれ上の青いラインと同じになっているので、「立地適正化計画における居住誘導区域で合併処理浄化槽で処理する区域」としてはどうか。先ほど事務局からも説明があったが、伊勢市では人口減少に備えて立地適正化計画を作ったところだが、今後恐らく下水道、道路、公園など、様々な都市施設で見直しが進んでいくと思う。その際、立地適正化計画のエリアとの調整、都市計画の土地利用との整合性については引き続き留意して進めていただくようお願いする。

◆事務局

下水道全体計画の今後の策定にあたっては、都市計画としての意見を早い段階から調整するなど、事務局としてしっかり調整していきたいと考えている。正副会長にもご相談させていただきながら進めていけたらと考えている。

◆会長

是非その方向で進めていただくようお願いする。本件に関しては以上とさせていただくがよろしいか。

◆委員

<異議なし>

◆会長

最後に事務局から連絡事項をお願いする。

◆事務局

次回、第 74 回都市計画審議会は、3 月 24 日の午後 2 時から、本会場にて開催を予定している。

◆会長

以上をもって、第 73 回都市計画審議会を閉会する。

<閉会>